

# 1 号議案 2022 年度 事業報告案

## 1. 概観

2022 年度は、シーライツの設立 30 周年及び「こども基本法」の制定や「こども家庭庁」の設置が実現した記念すべき年となり、初めてのクラウドファンディングへの挑戦や、30 周年記念たるイベントの実施、HP 上に 30 周年記念ページを作成するなど、子どもの権利普及事業を中心に様々な試みを行った。

前年に制作した『世界の子どもの権利かるた』の発売が開始され、学生インターンや学生ボランティアが中心となって、子どもたちとかるたで遊びながら子どもの権利について考えるワークショップを積極的に開催した。NPO わかものまちとの連携事業では、「わかまち・シーライツ連携フォーラム」連続ミニシンポジウム（オンライン）を全 5 回開催し、子ども・若者の参画について、多様な側面から実りある議論を行うことができた。オンラインのトークイベント、チャイルドライツ・カフェは 3 回実施し、各回の講師のレクチャーと甲斐田とのクロストークが好評を得た。こども基本法等に関する講演依頼も多く寄せられ、自治体、学校などさまざまな場で講演を行った。

一方、カンボジア事業では、パートナーシップのもと活動してきた現地 NGO の CCPCR（Cambodian Center for the Protection of Children's Rights カンボジア子どもの権利保護センター）による不正の疑いが生じた。現在、第三者委員会を設置し、事実調査と原因究明に取り組んでいるが、海外事業のあり方や組織体制を根本から考え直す必要に迫られた。

## 2. 開発途上地域の子どもの支援事業

カンボジア「権利保有者である子どもと責務履行者であるおとなの対話や協働を通して、子ども誰ひとり取り残さない、子どもにやさしい地域をつくる事業」

### 【概要】

2023 年 1 月に事業の関係者から給与およびトイレの修理代が未払いであることが報告され、オンライン電話や現地訪問をつうじた調査を行ってきたが、現在、第三者委員会を設置し、事実調査と原因究明に取り組んでいる。

理事会では、今回の不正の疑いを受け、CCPCR とのパートナーシップについて 4 月の更新を行うことなく、解消することを決定した。（別紙を参照してください。）

一方で、子どもたちは、予定どおり英語教室に通い、図書室の本を借り、CFS（※）を子どもたちの居場所として使っていたことがわかった。

また、スヴァイリエン大学の教員 2 名が子どもクラブのピアエデュケーターに英語を学ぶ重要性を伝えたり、性的マイノリティ（LGBTQ）の子どもの権利など、多様な背景をもつ子どもたちの権利を伝えたりする授業をおこない、子どもたちは、性的マイノリティの子どもに対して差別をしてはいけないことを学んだ。

※ CFS とは Child Friendly Space（子どもにやさしい空間）の略で、当会が子どもたちの活動拠点として現地に建設したコミュニティセンターのアクティビティ・ルーム、図書室のこと。

【主な助成・寄付】 尚絅学院大学ほか。

### 【活動】

#### （1）子どもの権利に関するミーティング

日時	活動内容
5 月 22 日	・ピアエデュケーターとミーティング。スヴァイリエン大学の Bill 先生が自分の経験を交えながら英語を学ぶことの重要性を話した。
7 月 24 日	・ピアエデュケーターとミーティング、貧しい家庭を訪問
8 月 9 日	・ピアエデュケーターとミーティング
10 月 2 日	・ピアエデュケーターとミーティング LGBTQ に関する講座をスヴァイリエン大学のブンリー先生とともに実施。
11 月 10 日	・ピアエデュケーターとミーティング。親が怒ったときに暴言を吐き、根本的な理由を考えようとしないうという悩みが子どもたちから共有された。

## (2) 英語教室

4 月から 11 月中旬までと 2 月から 3 月、毎週日曜日 60 名から 80 名の子どもたちが英語教室に参加した。授業はレベルに合わせて、3 クラスに分かれて開催された（初級は約 25 名、中級は約 32 名、上級は 13 名。初級はアルファベットと発音、中級は「家族と友達」、上級は「コリンズ読解のための英語」の教科書を使用）。地元の村出身で、大学卒の女性英語教師 Neth は、子どもたちを励まし、相談相手にもなった。

## (3) 図書室活動

子どもたちは、図書室の本を継続して利用した。2022 年 4 月から 2023 年 2 月までに図書室に本を読みに来た子どもの数は以下の表のとおりである。

年・月	利用者数	性別	
		女子	男子
2022 年 4 月	147	58	89
2022 年 5 月	152	74	78
2022 年 6 月	142	65	77
2022 年 7 月	151	75	76
2022 年 8 月	374	88	286
2022 年 9 月	204	93	111
2022 年 10 月	143	62	81
2022 年 11 月	138	67	71
2022 年 12 月	167	64	103
2023 年 1 月	215	82	133
2023 年 2 月	228	95	133
のべ人数合計	2061	823	1238

## (4) CCPCR 不正の疑いについて

2023 年 1 月より、カンボジア語の通訳を交え、オンラインで関係者に聞き取り調査を開始し、2 月には現地調査を行い、現在、第三者委員会による調査を実施している。

## 3. 開発途上地域の子どもの権利状況に関する調査・研究・発信事業及び開発教育事業

### (1) 講演

日付	名称	講師・報告者	主催
8 月 7 日	「世界の子ども権利かるた」で子どもの権利を学ぼう！	甲斐田代表理事	開発教育協会 (DEAR) 主催 d-lab2022 自主ラウンドテーブル

11 月 10 日 (対面)	JICA 北陸 課題別研修「子どもの保護 地域ベースの取組みとそれを支える政策枠組み 子どもの参加の権利とチャイルドプロテクション」	甲斐田代表理事	国立大学法人福井大学
-------------------	--	---------	------------

## (2) 研究活動・出版・制作

甲斐田代表理事と南雲理事の共著論文「子どもの権利と持続可能な開発目標(SDGs)達成に向けた取り組み～こども基本法とこども家庭庁を求める子どもアドボカシーに焦点をあてて」(2023 年 2 月発行「文京学院大学総合研究所紀要第 23 号」)

## 4. 国連子どもの権利条約の普及事業、及び子どもの権利促進事業

### (1) 「世界の子どもの権利かるた」の普及・活用

日付	タイトル	対面／ オンライン	会場等
6 月 14 日	世界の子どもの権利かるたを使った授業(1 年生)(代表理事、学生インターン・ボランティア 9 名)	対面	文京学院大学女子中学校
6 月 26 日	子どもの権利かるたで遊ぼう (代表理事、学生インターン・ボランティア 9 名)	対面	川崎市子ども夢パーク フリースペースえん
8 月 27 日	かるたで子どもの権利を楽しく学ぼう(代表理事、学生ボランティア 3 名)	対面	ハックルベリーブックス (千葉県柏市児童書専門店) ※合同出版など「生かそう! 子どもの権利条約出版社の会」の企画
11 月 27 日	シーライツ設立 30 周年記念! 世界の子どもの権利かるたイベント 第二部 高祖常子氏との対談 (代表理事、学生インターン、学生ボランティア)	対面(第一部) 対面／オンライン(第二部)	第一部:文京学院大学 B's スクエア 第二部:文京学院大学 B's カフェ
12 月 10 日	かるたで子どもの権利を楽しく学ぼう(代表理事、学生ボランティア 2 名)	対面／オンライン	子どもの権利条約フォーラム 2022 in 那覇/沖縄 分科会
12 月 10 日	世界の子どもの権利かるた子どもの権利条約かるた大会(学生ボランティア 2 名)	対面	川崎子どもの権利の日のつどい(川崎市こども未来局 青少年支援室)

### (2) NPO わかもののまちとの連携事業(ソーシャルジャスティス基金助成)

①「わかまち・シーライツ連携フォーラム」連続ミニシンポジウム(オンライン)の開催(全 5 回)

日付	タイトル	登壇者
----	------	-----

4 月 23 日	第 1 回「そもそも子ども・若者の声をなぜ聴くのか？」	甲斐田万智子 (C-Rights 代表理事) 土肥潤也 (NPO 法人わかもののまち事務局長)
5 月 29 日	第 2 回「子どもが直面する問題を解決するために子ども議会・子ども会議はどのようなカタチであるべきか？」	齋藤愛彩氏 (遊佐町少年議会) 前川友太氏 (川崎市子ども会議サポーター)
8 月 28 日	第 3 回「子ども・若者と政策決定者の対話を意味のあるものにするためには？」	山口有紗氏 (小児科専門医・子どものこころ専門医) 山本晃史氏 (認定 NPO 法人カタリバ)
9 月 24 日	第 4 回「社会にマイノリティの子ども・若者の声を反映するためにどんな仕組みが必要か？」	田中宝紀氏 (NPO 法人青少年自立援助センター) 星野慎二氏 (認定 NPO 法人 SHIP 理事長)
11 月 23 日	第 5 回「子ども・若者があたりまえに参画する社会をつくろう！」	川瀬信一氏 (一般社団法人子どもの声からはじめよう代表理事) 能條桃子氏 (一般社団法人 NO YOUTH NO JAPAN 代表理事)

- ②ソーシャル・ジャスティス基金主催イベント「ー共に変えようー これからのソーシャル・ジャスティス 連携ダイアログ 2022」(8 月 6 日)に参加

### (3) チャイルドライツ・カフェ (オンラインイベント) の開催

日付	タイトル	登壇者
5 月 11 日	第 11 回「『女子・女性差別にあふれる日本』を変えていくには？ ～子どものときから学んでおきたいこと～」	山本和奈氏 (Voice Up Japan 代表理事、起業家・アクティビスト・投資家)
10 月 21 日	第 12 回「『コロンビアの子どもの権利状況と子ども環境活動家フランシスコ・ベラの活躍』	鈴木真代氏 (シーライツ理事、SGS ジャパン(株)ESG アドバイザリー部アドバイザー)
12 月 16 日	第 13 回「モンテッソーリ教育からみる子どもの権利の尊重とおとなの役割」	深津高子氏 (国際モンテッソーリ協会 (AMI) 公認教師、一般社団法人 AMI 友の会 NIPPON 副理事長)

### (4) 講師派遣

- ① 子どもの権利、こども家庭庁、こども基本法、こどもにやさしいまち等について

日付	名称	講師・報告者	主催
4 月 10 日 (オンライン)	こども家庭庁と子どもアドボカシー	甲斐田代表理事	NPO 法人子どもアドボカシーセンター OSAKA
5 月 15 日 (対面)	子どもの権利が守られる社会に ～子ども基本法を考える (講演・パネリスト)	甲斐田代表理事	愛知県弁護士会

6 月 6 日 (オンライン)	子どもの権利（特に子どもの教育を受ける権利）について	甲斐田代表理事	認定 NPO 法人 ESA アジア教育支援の会
6 月 26 日 (対面)	かわさき子どもの権利フォーラム 2022 年度総会記念イベント 「こども基本法・こども家庭庁とは？ ～わたしたちにどう関わるのか」	甲斐田代表理事	かわさき子どもの 権利フォーラム
6 月 30 日 (オンライン)	CFCI フォーラム、『コロナ禍長期化において子どもの健全な育成環境と子どもにやさしいまちづくり』	甲斐田代表理事	子ども環境学会、 日本ユニセフ協会
7 月 5 日 (対面)	コロンビア（ラテンアメリカ諸国）での子どもの権利に関する重点テーマと課題	鈴木理事	青山学院大学 法学部 ヒューマン ライツ学科
7 月 25 日 (オンライン)	「こども基本法を活かして子どもの声を聴く社会にしよう」	甲斐田代表理事	SW と子どもの権利 条約勉強会
10 月 22 日 (オンライン)	「世界の子どもの権利かるた」で学ぶ～「こども基本法」と「こども家庭庁設置法」の現状と課題～	甲斐田代表理事	チャイルドライン
12 月 20 日 (オンライン)	「LGBTQ の基本的な理解について～学校に求められていること」	甲斐田代表理事	武蔵村山市立第 9 小学校
1 月 22 日 (対面・オンライン)	かながわ教育フェスティバル 2022 「こども基本法をどのように活かすか ～子どもの権利が認められる社会に」	甲斐田代表理事	かながわ教職員組合連合
1 月 27 日 (対面)	研究集会第 3 分科会「国際的に移動する子どもの権利保障と日本の学校・社会の責任」	甲斐田代表理事	大阪府立学校人権 教育研究会
2 月 10 日 (対面・オンライン)	長崎県人権教育中央研修会 「子どもの声を聴くことはなぜ大切なのか ～こども基本法によって求められる子どもの権利実現」	甲斐田代表理事	長崎県・長崎県教育委員会
3 月 23 日 (対面・オンライン)	令和 4 年度公益財団法人人権教育啓発推進センター会員特別セミナー「こども基本法とこども家庭庁を活かす～子どもの権利を尊重する社会の実現に向けて」	甲斐田代表理事	公益財団法人 人権教育啓発推進センター
3 月 27 日 (対面)	「地域が子どもの居場所になるために 「子どもに権利」を教えるとわがままになる？」	甲斐田代表理事	川崎市宮前区地域教育会議

#### (5) 子どもの権利についての書籍の出版

- ・ 【30 周年記念事業】として出版社アルパカより年度内の子ども向け本『毎日使える子どもの権利』の出版を目指していたが、執筆者である甲斐田の多忙により執筆が遅れ、今年度中に執筆は完了したものの、出版は 2023 年度に延期。



- ・ 甲斐田代表理事監修『きみがきみらしく生きるための子どもの権利』KADOKAWA より出版。

#### (6) 執筆活動、メディア掲載

- ・ 『子どもと教科書ネット 21』「子どもの権利を保障するための「子ども基本法」を今国会で成立を」(甲斐田代表理事)
- ・ 『子ども白書 2022』(かもがわ出版)「こども庁とこども基本法と子どもの権利」(甲斐田代表理事)
- ・ 『月刊部落解放 2022 年 8 月』(解放出版社)「子どもの権利とビジネス」(甲斐田代表理事)
- ・ 毎日新聞 WEB 他 9 件において、甲斐田代表理事のコメントが掲載された(2022/8/18)
- ・ 毎日新聞 8 月 29 日夕刊一面「子ども目線のまちへ」(甲斐田代表理事インタビュー掲載)
- ・ 月刊誌『クーヨン』11 月号(クレヨンハウス発行)特集記事「『叱りすぎ育児』を卒業しましょう」(インタビュー掲載)(甲斐田代表理事)
- ・ こども家庭庁「こども政策決定過程におけるこどもの意見反映プロセスの在り方に関する調査研究 【有識者ヒアリング調査】調査報告書に甲斐田代表理事の聞き取りが掲載(2022 年 12 月)
- ・ 保育士のためのコミュニケーション支援 YouTube うめチャンネルに出演し「子どもの権利条約をもっと身近に」と題して話す(2022/9/8)。
- ・ 駐妻キャリアネットでインタビュー記事「世界の子どもたちが生きやすく社会をつくるために」が掲載(2022/10/21)
- ・ Yahoo!ニュースに「子どもの権利や子どもアドボカシーの視点からこども家庭庁とこども基本法の意義を考える」にが掲載(2022/10/25)。
- ・ Dialogue for People の安田菜津紀さんのインタビューに対して、甲斐田代表理事のコメント「朝鮮学校に対する補助金停止は子どもの権利侵害」というコメントが掲載(2023/1/14)  
<https://d4p.world/news/19644/>
- ・ こども家庭庁「こども政策の推進に係る有識者会議 第 2 次報告書」に甲斐田代表理事の聞き取りが掲載([別紙]p.5)(2023 年 3 月)

#### (7) ウクライナから日本へ避難した 10 代の子ども向けリーフレット『ウクライナから来たあなたへ』の作成

[資金協力] サッポログループ労働組合協議会 [協力] グリーフサポートせたがや  
[編集・イラスト・デザイン] ナムーラミチヨ(書肆まひまひ)  
[監修] 浮世満理子(一般社団法人全国心理業連合会代表理事、ウクライナ心のケア交流センターひまわり)

- ・ ウクライナ等から避難してきた子どもの回復する権利を守るとともに子どもたちの心のケアを支援するため、心のケアを専門に行う機関等の協力を得ながらリーフレットを作成した。
- ・ 11 月中にシーライツ HP 上に PDF ファイルを掲載、12 月に印刷物が完成。年明けから配布を開始した。
- ・ 11 月 12 日にサッポログループ労働組合協議会総会において、リーフレット作成についてご報告。

#### (8) 子どもアドボカシー研究会

子どもアドボカシーの研究者と実践者による「子どもアドボカシー学会(旧子どもアドボカシー研究会)」(会長:堀正嗣氏)が開催する研究会に参加。

日付	内容	参加者
4 月 10 日	月例会において、SCJ 西崎さんと国会で審議が進んでいることも基本法とこども家庭庁について説明。	甲斐田代表理事
8 月 21 日	子どもアドボカシー学会設立記念研究大会 in 大阪シンポジウム「子どもアドボカシーの未来を展望する」「子どもアドボカシーセンターの役割と課題—アドボカシーの文化を築く」	甲斐田代表理事

## 5. 国際・国内団体とのネットワーク

### (1) 参加ネットワーク団体

- ・ 広げよう！子どもの権利条約キャンペーン実行委員会
- ・ (特活) 国際協力 NGO センター (JANIC) の正会員を継続
- ・ 児童労働ネットワークの団体正会員
- ・ カンボジア市民フォーラムの会員 (甲斐田代表理事、岡島理事が世話人として 7/28・10/28 に参加)
- ・ NGO 非戦ネット
- ・ SDGs 市民社会ネットワーク情報会員
- ・ 子どもに対する暴力撤廃日本フォーラム (GPeVAC) (2022 年 9 月ワーキンググループに甲斐田代表理事が参加)

### (2) ネットワーキング活動

- ・ 広げよう！子どもの権利条約キャンペーンの活動に共同代表・実行委員団体として参加

日付	内容	参加者
4 月 11 日	キャンペーン実行委員会	甲斐田代表理事、 藤岡事務局長
5 月 13 日	キャンペーン政策提言チーム会議	甲斐田代表理事
6 月 15 日	こども基本法国会成立を受けて意義と課題についてオンライン記者会見 (動画はキャンペーンサイト)	甲斐田代表理事
7 月 4 日	キャンペーン政策提言チーム会議	甲斐田代表理事
10 月 20 日	キャンペーン実行委員会	甲斐田代表理事

- ・ NPO 法人きづくとの協働事業

ポジティブ・ディシプリン (養育者が子どものこころや体を傷つける罰を用いた子育てから少しずつ距離を置き、子どもの健やかな発達と学びを促すような子育て) を推進する NPO きづくとの協働事業として「声を聞かせて」プロジェクトに参加。事業終了を記念したきづく代表・森郁子さんと甲斐田代表理事の対談報告が YouTube で配信されたほか、事業報告書にコメントが掲載された。

<https://www.kidzuku.org/project> \*<https://www.kidzuku.org/pd>

### (3) その他

藤岡事務局長が一般社団法人日本国際協力システム (JICS) NGO 支援事業の審査員を務めた。

## 6. 組織運営

**(1) 理事会の開催**

理事会を全 9 回開催（全てオンラインにて開催）。

日付	議題
4 月 9 日	第 87 回理事会 議題：金調達計画、事務所移転、総会準備スケジュール等
5 月 20 日	第 88 回理事会 議題：2022 年度総会議案、カンボジア事業等
6 月 17 日	第 89 回理事会 議題：代表理事・副代表理事の互選、新事務局長選任
8 月 22 日	第 90 回理事会 議題：クラウドファンディングの準備等
9 月 18 日	第 91 回理事会 議題：クラウドファンディングの呼び掛け・広報状況の確認
12 月 13 日	第 92 回理事会 議題：かるたの件、来年度からの事業計画、カンボジア事業等
2 月 12 日	第 93 回理事会 議題：CCPCR による不正の件
3 月 3 日	第 94 回理事会 議題：CCPCR による不正の件、スタッフの勤務について
3 月 31 日	第 95 回理事会 議題：CCPCR による不正の件、海外指定寄付について

**(2) 事務所の運営、事業運営へのサポート**

4 月 5 月は事務局長代行として丸山千夏が、6 月から藤岡恵美子が事務局長に就任。

4 月から学生インターン 2 名が事務局運営に参加。

10 月から中村裕子さんが 3 月から松本雪香さんが事務局ボランティアとして参加。

オンラインイベント運営に、今福晶子さん、高野紀子さんがボランティアとして参加。

**(3) 資金調達****① クラウドファンディング**

9 月 15 日から 10 月 25 日までの 40 日間、READYFOR にて「子どもの権利についての子ども向けの本の出版」「世界の子どもの権利かるたを使った子ども向けワークショップ」「子どもの権利ファシリテーター養成講座」の 3 つの活動を柱として、『シーライツ 30 年 | 子どもの権利を伝える活動を全国へ広げたい！』のプロジェクト名でクラウドファンディングを行い、目標の 200 万円を上回る 2,403,000 円のご寄附を集めることができた。

**② 助成金**

子どもの人権連より子どもの権利普及活動に 10 万円の助成を受け、かるたワークショップを実施した。

**③ 団体大口寄付（10 万円以上）**

寄付者	金額	指定寄付内容
NTT 労働組合西日本本部	500,000	カンボジア事業
サッポログループ労働組合協議会	121,728	ウクライナからの 10 代の避難者向けリーフレットの作成
箕面高校	111,000	カンボジア事業
尚綱学院大学	332,242	カンボジア事業

**(4) 支援者****① 会員**

2022 年度会員総数 個人会員 計 54 名

内訳



正会員合計 (前年比)	一般正会員	子ども正会員	
32 (4 名増)	32	0	
賛助会員合計 (前年比)	一般賛助会員	子ども賛助会員	団体賛助会員
22 (増減なし)	22	0	0

## ② マンスリーサポーター

3 月末時点で登録者は 86 名。(2021 年度に比べ 3 名減)

## (5) 広報

## ① 30 周年特設サイトの公開

シーライツ 30 周年を記念して 23 名の方々の応援メッセージを掲載した特設ページを作成し、公開した。

## ② 2020-2021 年度の年次報告書を作成し、支援者に配布した。

\* 事務局の人手不足等により、本年度中会報は発行できなかった。

以上